

# 日本輸血・細胞治療学会 精度管理調査

精度管理調査準備小委員会

# 目的

- 輸血検査の精度管理・精度保証が医療法において重要視されている。
- ISO15189では、内部精度管理・外部精度管理の評価が重要視されている。しかし、要件に沿う数の外部精度管理が行われていない。
- 国内の輸血精度および精度保証を行う活動をする。

# 概要

## 【時期】

回数：年1回 11月頃

## 【対象施設】

2021年度：大学輸血部会議参加施設

2022年度～：日本輸血・細胞治療学会会員施設

## 【参加費】

10,000円（税別）

## 【検査項目】

### 評価対象

- ABO・RhD血液型検査
- 不規則抗体検査
- 直接抗グロブリン試験

### 評価対象外

- 抗A・抗B吸着解離試験
- 抗体解離試験

## 【評価方法】

日臨技の評価方法に準ずる

A：正解、B：許容正解、C・D：不正解

\* D評価施設にはコメント

## **【申し込み方法】**

Web : Googleフォーム

## **【回答方法】**

Web : Googleフォーム

## **【結果報告】**

各施設へ郵送

# 2021年度に向けて

1. 大学輸血部会議参加施設に対して、メーリングリストで精度管理の参加希望を確認
2. 2021年4月以降に、申し込み開始
3. 11月に精度管理調査実施

# 精度管理調査準備小委員会

担当理事：加藤栄史（愛知医科大学）

委員長：日高陽子（東邦大学）

副委員長：井手大輔（近畿大学）

委員：奥田 誠（東邦大学）

国分寺晃（広島国際大学）

福吉葉子（熊本大学）

三浦邦彦（手稻溪仁会病院）